

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月12日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 大阪市西区北堀江1丁目12番19号

氏 名 株式会社 栗本鐵工所

代表取締役 菊本 一高

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6538-7615

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社栗本鐵工所 安堵連絡管第1工区整備事業現場事務所
事業場の所在地	奈良県生駒郡安堵町窪田628-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	工事費 2, 907 百万円
③従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	工法の改善（汚泥） 分別徹底の指示 設計数量との比較		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	工法の改善（汚泥） 引き続き実施 持込時のユニット化 設計数量との比較 引き続き実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生元における分別徹底の指示
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 不純物の混入防止を図る

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t		t
		(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t		t
		(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—	
	全処理委託量	t		t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
		(これまでに実施した取組) 電子マニフェストの利用できる業者と契約 追跡調査の実施		

(第5面)

【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストの利用できる業者と契約 処理業者の現地確認 追跡調査の実施 引き続き実施			

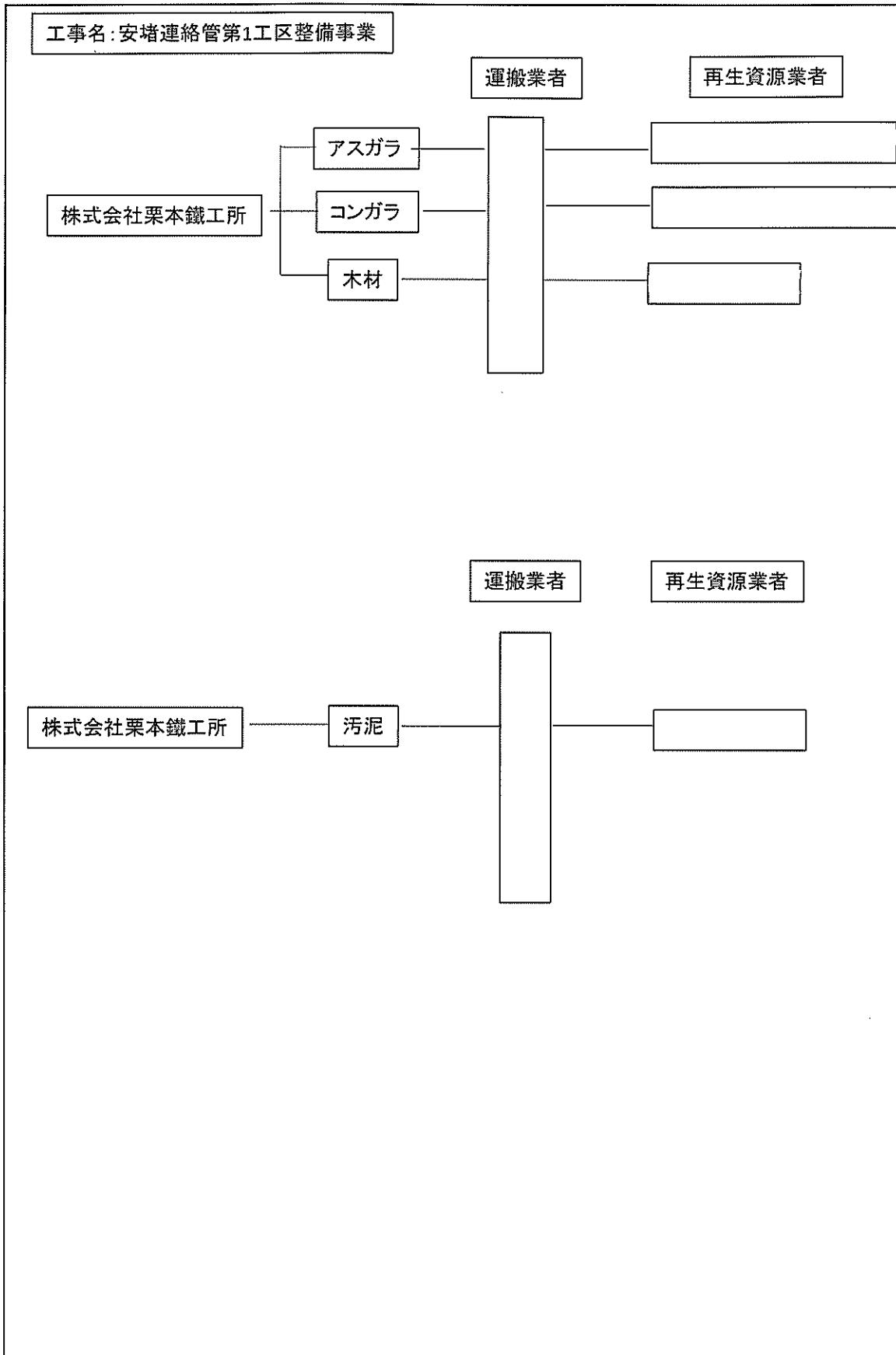
産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和6年度)実績量

計画: 今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

別添1 处理工程図



別添2 管理体制図

